



1月11日 東地申32号

「2021年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ【上野駅】

を行う！

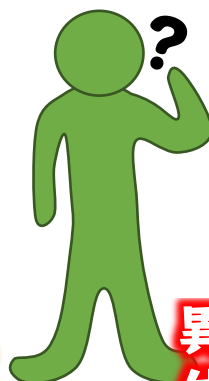
上野駅では、2022年2月1日より地平ホーム（13～17番線）に車掌用ITVを設置することで、乗降終了合図の常時掲出を見直すことが示されています。上野駅は上野東京ラインや尾久車両センターへの入出区など首都圏輸送の要としてお客さまに安全・サービスを提供している重要な駅といえます。現場では、多くの不安の声が出ています。

ITVだけで安全が守れるの？

整備はいつ終わるの？



教育が少なく不安だ…



異常時を見据えた体制が必要だ！



ITVを整えたからといって、安全やサービスレベルが向上するとは到底いえない！

様々な異常時を想定した体制を維持し、十分な社員教育を行うべきだ！

<申し入れ内容>

1. 今施策を実施する目的と根拠を具体的に示すこと。
2. 駆け込み乗車やカーブしている箇所など、これまでホーム立番がお客さまの安全を守るため担ってきた業務が廃止されることとなるが、会社の認識として安全・サービスは維持・向上するのか考え方を示すこと。
3. 職場において示されている、「360度型監視カメラ」と「放送設備」を施策実施までに整備すること。また、十分な教育を実施し社員の不安を解消すること。
4. テロや天災等も含めた異常時が発生した際の初動対応を的確に行うためにも、現行通りの体制とすること。
5. ダイヤ改正の実施及び必要な設備の整備、社員教育が終わるまでは施策を実施しないこと。

労使で認識を合わせなければ良い施策とはならない！

地本は現場で働く仲間と共に、団体交渉に臨みます！